

2021 年 11 月 11 日

通貨ニュース

タイ:11 月金融政策委員会～景気の底打ちを確認も不確実性は高い

タイ中央銀行(BOT)は 10 日に金融政策委員会を開催し、政策金利を過去最低水準の 0.50%に据え置いた(図表 1)。政策金利は委員会メンバーの全会一致の下で 12 会合連続の現状維持となった。なお、ブルームバーグの事前予想では 21 人のエコノミスト全員が政策金利の据え置きを予想していた。

声明文では、今後の景気動向について、7～9 月期以降デルタ株拡大による減速は一段落し、前回会合で修正した見通しと大きく乖離しないペースで改善に向かっていくとの見解を示した。21 年の成長見通しは前年比+0.7%、22 年については同+3.9%に据え置かれている。その一方、BOT は景気回復が依然として軟調で不確実性が高い点を指摘した。

国内のデルタ株拡大もやや抑制の傾向が見られるが、経済活動が正常化したとは言えず、生産能力の回復や労働力不足が解決するには依然時間を要すると見られる。こうした中、BOT は従前からの緩和的な金融政策を維持することは景気回復支援の観点からも妥当であるとした。また、今後についても政策手段の余地は限定的であるとしながら、必要に応じて最も効果的な時期にその手段を用いる用意があると総括した。

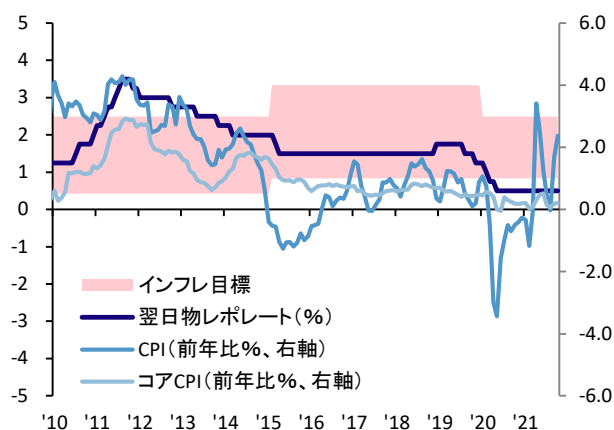
なお、政府は経済の挺入れとして、11 月から外国人観光客の受け入れ再開を発表し、外需の取り込みと GDP の 2 割を占める観光業の活性化に向けた取組を進めている。とはいえ、現状においては経済への波及度合いも段階的かつ限定的と推測される。冬場にかけて各国の感染拡大リスクや観光目的での渡航制限の緩和への動きは様々であるとは考えにくい。その他、航空便の稼働具合や燃料価格の高騰など価格面でも不安定要素が多い点もその理由である。

足許の物価動向に関しては、燃料価格の高止まりや世界的な供給制約といったインフレ要因を指摘しながらも、CPI への影響は一時的に留まり、中期的には BOT が目標とするレンジ(前年比+1.0～+3.0%)に収束するとの見解を示している。その一方で、デフレ体質の改善は見られておらず、図表 1、2 に見られる様に価格変動幅が大きい生鮮食品とエネルギーを除いたコア CPI はコロナ禍において 0%近傍で低位安定している。国内景気回復の遅れもあってインフレ要因が供給面に偏っていることは無視できず、消費者心理の改善や消費活動の活性化など需要面からのインフレが期待できる状況にあるとは言えない。

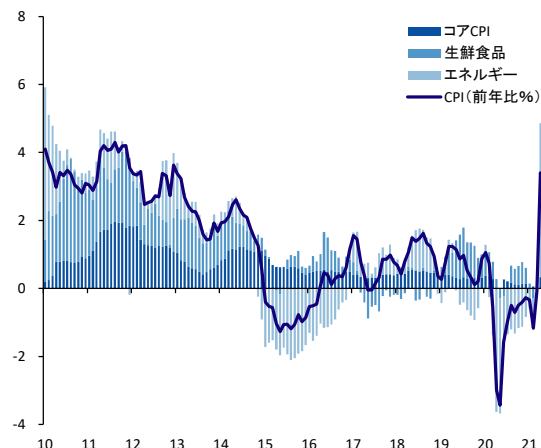
こうした中、THB は引き続き軟調な推移を予想する。外国人観光客の受け入れ再開のヘッドラインを受けて THB は値を戻しつつあるが、足許の情勢を踏まえるとそれ以外の買い要素に乏しい。コロナ禍前には ASEAN 地域最大の経常黒字国として堅調な推移が続いた THB だが、前述の観光業の壊滅の他、輸入物価の上昇に伴う貿易黒字の剥落などもあり経常赤字が続く可能性も懸念される(図表 3、4)。また、11 月頭の FOMC では量的緩和縮小の発表がされ、その後も順調に金融政策の正常化への議論が進捗すればドルの選好は堅調とみら

市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

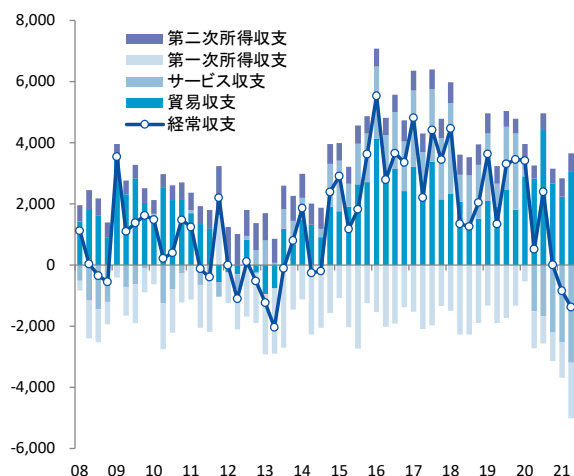
れる。片や、タイ経済はようやくデルタ株からの景気底打ちを確認し、低成長・低インフレからの脱却を見据える段階に留まっており、金融政策の正常化への議論を開始する段階には遠く及ばない。今後も BOT がある程度の期間をもって景気と物価の評価を下すと見られる中、現状においては少なくとも来年前半までは緩和的な金融政策が続くと考えたい。

図表 1: タイの政策金利とインフレ率


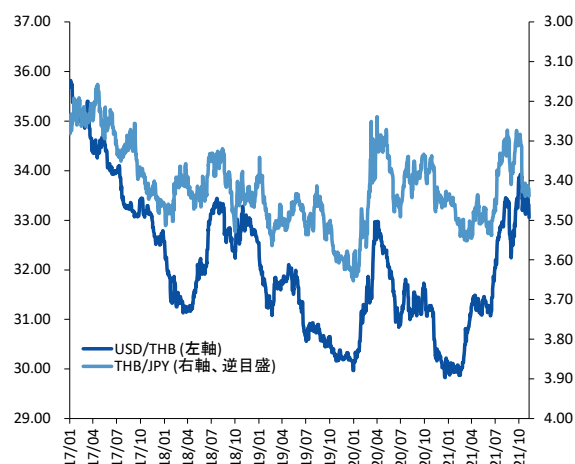
出所: タイ中央銀行、タイ商務省、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価の動向(前年比%、%ポイント)


出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 3: 経常収支の動向(億バツ)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: THB 相場動向


出所: Bloomberg、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。